

第2回 東北 IVR 技術研究会 開催案内(Hybrid 開催)

東北 IVR 技術研究会 代表 加藤 守



時下、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

Interventional Radiology の発達・普及は疾患の病態解明と低侵襲治療として大いに役立つものと期待され、各領域で広く臨床応用されております。そこで血管撮影技術に関する研究を推進し、新しい知見の普及ならびに相互の交流を深めるため、標記研究会を開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

どなたでもご自由に参加できる会です。皆様お誘い合わせてのご参加をお待ちいたしております。

(参加登録は東北 IVR 技術研究会 HP:<http://t-time.kenkyuukai.jp/>よりお申し込みください。)

日 時:令和5年7月8日(土) 13:00~17:30

場 所:東北大学 医学部臨床講義棟 2F 臨床中講堂

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

参加費:1,000円(学生無料)

プログラム

総司会:東北大学病院 中田 充

1. 開会のあいさつ 13:00~13:05 代表:秋田県立循環器・脳脊髄センター 加藤 守
2. 基礎講演:血管撮影装置の線量測定と実測結果 13:05~13:35
 - ① 血管撮影装置の正しい線量測定方法 講師:秋田県立循環器・脳脊髄センター 加藤 守
 - ② 血管撮影装置の線量表示の実際 講師:岩手医科大学附属病院 岩城 龍平
3. シンポジウム:IVR 被ばく低減認定施設取得への道のり(13:35~15:00)

座長:秋田県立循環器・脳脊髄センター 加藤 守
青森労災病院 坂本 幸夫

シンポジスト

- ① 施設認定委員からの提言 青森労災病院 坂本 幸夫
- ② 多装置所持施設 秋田大学 近野 昂史
- ③ カテ件数が少ない施設 山形済生病院 富樫 昂也
- ④ 最近の取得施設 八戸市立市民病院 榎本 卓馬

休憩10分

4. 特別講演 メディカルスタッフ:タスクシフトの現在と今後を考える 15:10~15:40

座長:秋田厚生医療センター 佐藤 均
講師:東北医科薬科大学病院 臨床工学技士長 鈴木 雅和 先生
5. 情報提供(最新の血管撮影装置の特徴) 15:40~16:25

司会:福島県立医科大学附属病院 角田 和也

 - ① シーメンスヘルスケア株式会社
 - ② キヤノンメディカルシステムズ株式会社
 - ③ 株式会社 島津製作所
 - ④ 株式会社 フィリップス・ジャパン
6. 特別講演 メディカル:冠動脈石灰化病変の評価と治療について 16:25~17:25

座長:岩手医科大学附属病院 岩城 龍平
講師:岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野 准教授 石田 大先生
7. 閉会の挨拶 17:25 副代表:青森県立中央病院 伊丸岡 俊治